



Sun Control Station

Software Management モジュール

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 817-5903-10
2004 年 4 月 , [Revision A](#)

本マニュアルについてのご意見は、<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>
までお寄せください。

Copyright 2004 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的財産権を有しています。これら知的財産権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布、および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Java、JavaServer Pages、JSP、JumpStart、Netra、Solaris、Sun Cobalt、Sun Cobalt RaQ、Sun Cobalt CacheRaQ、Sun Cobalt Qube、Sun Fire、および Ultra は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

Netscape および Mozilla は、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の商標および登録商標です。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念の研究開発における、米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装する米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されるほか、米国 Sun Microsystems 社の書面によるライセンス契約に準拠します。

U.S. Government Rights - Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。



Please
Recycle



Adobe PostScript

目次

Software Management モジュール 1

「Software Management」画面 2

 パッケージファイル 2

Software Management で利用可能なタスク 3

 Upload 3

 Download 3

 Publish 3

 Unpublish 4

 Install 4

 Uninstall 4

 Package Info 5

 Remove 5

Packages 6

 パッケージリストの更新 7

 パッケージファイルのアップロード 7

 1つのパッケージファイルの場合 7

 複数のパッケージファイルの場合 9

 表示オプションの設定 10

 利用可能なパッケージファイルリスト内での検索 13

 パッケージファイルのダウンロード 13

| | |
|---------------------------------------|----|
| パッケージファイルの公開 | 14 |
| パッケージファイルの公開解除 | 14 |
| パッケージファイルのインストール | 15 |
| 利用可能なパッケージファイルの詳細表示 | 16 |
| パッケージファイルの削除 | 17 |
| Installed Software | 18 |
| インストール済みソフトウェアリストの更新 | 19 |
| インストール済みソフトウェアの一覧表示 | 20 |
| インストール済みパッケージの詳細表示 | 21 |
| インストール済みパッケージファイルのアンインストール | 22 |
| Needed Software | 23 |
| 必要なソフトウェアリストの更新 | 25 |
| パッケージファイルのダウンロード | 25 |
| パッケージファイルの公開 | 26 |
| パッケージファイルのインストール | 27 |
| パッケージファイルのインストールのスケジュール作成 | 28 |
| パッケージファイルの詳細表示 | 30 |
| リモートサーバー | 31 |
| BlueLinQ サーバーとしての Sun Control Station | 31 |
| Sun Cobalt サーバー製品向け BlueLinQ サーバー | 31 |
| YaST Online Updater 機能 | 31 |
| 「Remote Software Servers」 テーブル | 32 |
| 「Actions」 列 | 33 |
| リモートソフトウェアサーバーの追加 | 33 |
| リモートソフトウェアサーバーの修正 | 35 |
| リモートソフトウェアサーバーの削除 | 36 |
| サーバー設定 | 36 |
| 設定の指定 | 37 |

| | |
|------------------------------------|----|
| パッケージファイル自動更新のスケジュール設定 | 38 |
| 一般情報 | 39 |
| 「Task Progress」ダイアログ | 39 |
| Schedule | 39 |
| 依存関係チェック | 41 |
| 状態を示す色 | 42 |
| 「Install Information By Host」テーブル | 43 |
| 「Install Information By Patch」テーブル | 43 |
| 即時インストール、またはインストールのスケジュール | 44 |

Software Management モジュール

本マニュアルでは、Sun™ Control Station の Software Management 制御モジュールを通じて利用可能な機能とサービスについて説明します。このモジュールで可能な作業は、次のとおりです。

- Sun BlueLinQ サーバーから、またはその他の Sun Control Station から利用可能なパッケージファイルを表示し、そのいずれかの場所から、使用する Control Station にファイルをダウンロードする
- 使用するコンピュータから Control Station にパッケージファイルをアップロードする
- Control Station が新規に公開されたパッケージファイルを確認できるリモートソフトウェアサーバーを追加する。リモートソフトウェアサーバーとしては、BlueLinQ サーバーまたは YaST Online Update (YOU) サーバーを使用できる
- 管理対象ホスト上のインストール済みパッケージファイルを表示する
- 1 つまたは複数の管理対象ホストで必要とされるパッケージファイルの一覧を生成する
- 管理対象ホストにパッケージファイルをインストール、または管理対象ホストからパッケージファイルをアンインストールする
- BlueLinQ が有効化されたクライアントからパッケージファイルが見えるようになる (「公開する」)、または見えるパッケージファイルを取り除く (「公開解除する」) (Control Station を BlueLinQ サーバーとして動作させる)

注 - この章に示すほとんどの手順では、最初の手順で左側のメニューバーにある「Software Management」をクリックし、2 番目の手順でサブメニューの項目をクリックします。

各手順の数を減らすため、メニューコマンドをまとめて説明しています。各項目の間に大なり括弧を入れてあります。

たとえば、「Software Management」>「Packages」は、左側のメニューバーにある「Software Management」をクリックしてから、サブメニューの「Packages」をクリックすることを意味します。

「Software Management」画面

左側の「Software Management」メニューをクリックすると、次のようなサブメニュー項目が表示されます。

- Packages (6 ページの「Packages」を参照)
- Installed Software (18 ページの「Installed Software」を参照)
- Needed Software (23 ページの「Needed Software」を参照)
- Remote Servers (31 ページの「リモートサーバー」を参照)

「Installed Software」機能と「Needed Software」機能では、管理対象ホストの隣にある矢印をクリックすると、管理対象ホスト上にインストールされたパッケージファイルの一覧、またはそのホストに必要なとされるパッケージファイルの一覧が表示されます。

パッケージファイル

ユーザーマニュアルでは、「パッケージファイル」の語は次のパッケージファイルを指します。

- Sun Cobalt サーバー製品向けの Sun Cobalt パッケージファイル
- Linux ベースのサーバー (Sun Fire™ V60x サーバーなど) 向けの Red Hat Package Manager (RPM) ファイル

- Sun の JDS ソリューション専用の Java Desktop System (JDS) RPM
- Solaris ベースのサーバー向けの SVR4 パッケージファイル

Software Management で利用可能なタスク

この節では、パッケージファイルで実行可能なタスクについて説明します。

注 - それぞれの画面ですべてのタスクが利用できるわけではありません。

Upload

「Upload」は、使用しているコンピュータからアクセス可能な場所から、Control Station 上のローカルリポジトリにパッケージファイルをアップロードします。Control Station に配置されたパッケージファイルが適切な形式であり、かつ適切なリストデータを含んでいれば、そのパッケージファイルは公開またはインストールできます。

この場合、1つのパッケージファイルをアップロードするか、テキストファイルに情報が含まれたパッケージファイルのリストを追加できます。

Download

「Download」は、リモートリポジトリから Control Station 上のローカルリポジトリへ、パッケージファイルをダウンロードします。

Publish

「Publish」は、パッケージファイルを、BlueLinQ が有効化されている外部のサーバーへダウンロードできるようにします。パッケージファイルは、リモートサーバーまたはローカルリポジトリから公開できます。

パッケージファイルがリモートサーバーに配置され、そのパッケージファイルを公開するように選択した場合、そのパッケージファイルはまず、Control Station 上のローカルリポジトリにダウンロードされ、そのあとで利用できるように設定されます。

Sun Control Station 上で公開されたパッケージファイルを表示するには、BlueLinQ が有効化されているサーバー上の BlueLinQ 設定を次の URL に指定します。

`http://<fully_qualified_domain_name_of_SCS>/packages/`

Unpublish

「Unpublish」は、パッケージファイルを、BlueLinQ が有効化されているサーバーが利用できないようにします。

この場合、パッケージファイルは BlueLinQ が有効化されている外部のサーバーには不可視となりますが、「Packages」テーブルには表示されます。パッケージファイルは、Control Station 上のローカルリポジトリに残っています。

Install

「Install」は、選択された管理対象ホスト上にパッケージファイルをインストールします。パッケージファイルは、ローカルリポジトリまたはリモートリポジトリからインストールできます。

パッケージファイルがリモートサーバーに配置され、そのパッケージファイルを管理対象サーバーにインストールするように選択した場合、そのパッケージファイルはまず、Control Station 上のローカルリポジトリにダウンロードされ、そのあとで管理対象ホストにインストールされます。

パッケージファイルをインストールする前に、Control Station は依存関係チェックを実行し、確認の画面を表示します。詳細は、41 ページの「依存関係チェック」を参照してください。

Uninstall

注意 - ホストからパッケージファイルをアンインストールすると、そのホストの動作に影響を与えることがあります。

「Uninstall」は、この機能が利用可能になっているパッケージファイルに対して、選択された管理対象ホストからパッケージファイルをアンインストールします。

パッケージファイルがアンインストールされると、Control Station は該当するホストのインストール済みパッケージファイルの一覧をすぐに更新します。

Package Info

「Package Info」は、パッケージファイルに関する詳細な情報を表示します。表示される内容は、ベンダー、パッケージファイルに関する説明、パッケージファイルのサイズ、パッケージファイルのアンインストールの可否、パッケージファイルをインストールしたあとにホストを再起動する必要の有無、およびパッケージファイルをインストールするためにインストールしておく必要があるパッケージです。

Remove

「Remove」は、利用可能なパッケージファイルの一覧から、パッケージファイルを削除します。パッケージファイルがリモート BlueLinQ サーバーに配置されている場合は、利用可能なパッケージファイルの一覧から、そのパッケージファイルに対するエントリが取り除かれます。パッケージファイルが Control Station 上のローカルリポジトリ内に配置されている場合は、利用可能なパッケージファイルの一覧からそのパッケージファイルに対するエントリが取り除かれ、パッケージファイルがリポジトリから削除されます。

パッケージファイルが Control Station 上で「公開」されている場合、そのパッケージを削除すると、BlueLinQ が有効化されているサーバーはそのパッケージを利用できなくなります。

「Refresh」オプションを使用すると、リモート BlueLinQ サーバー上に配置されているパッケージファイルが再表示されます。

注 - 「Remove」オプションでは、リモート BlueLinQ サーバーからパッケージファイルは削除されません。

Packages

「Packages」サブメニューで、リモートサーバーとローカルサーバー上のパッケージファイルを管理できます。セレクトは、Sun Control Station に認識されているすべてのソフトウェアパッケージの一覧を表示します。ソフトウェアパッケージは、ローカルの Control Station 上にも、別の Control Station にも、またはリモートの BlueLinQ サーバーにも配置可能です。

このメニュー項目で利用可能なタスクに関する説明については、3 ページの「Software Management で利用可能なタスク」を参照してください。

図 1 に、「Packages」テーブルの例を示します。



The screenshot shows a web-based interface for managing software packages. At the top, there are buttons for '表示の更新' (Refresh), 'アップロード' (Upload), '表示オプション' (Display Options), and '検索' (Search). Below these is a section titled 'パッケージ' (Packages) with buttons for 'すべてを選択' (Select All) and 'すべての選択を解除' (Deselect All). The main part of the interface is a table with the following columns: '名前' (Name), 'バージョン' (Version), 'タイプ' (Type), 'リポジトリ' (Repository), and '公開済み' (Published). The table lists several packages, each with a checkbox in the '名前' column. At the bottom of the table, there are buttons for 'ダウンロード' (Download), '公開' (Publish), '非公開' (Unpublish), 'インストール' (Install), '情報' (Info), and '削除' (Delete).

| 名前 | バージョン | タイプ | リポジトリ | 公開済み |
|--|--------------|---------|-------|-------------|
| <input type="checkbox"/> gedit | 0.9.78 | JDS RPM | local | Unpublished |
| <input type="checkbox"/> gftp | 2.0.112 | JDS RPM | local | Unpublished |
| <input type="checkbox"/> kedit | 3.0.04 | JDS RPM | local | Unpublished |
| <input type="checkbox"/> perl | 5.6.134.99.6 | JDS RPM | local | Unpublished |
| <input type="checkbox"/> php | 4.1.27 | JDS RPM | local | Published |
| <input type="checkbox"/> base-mgmt-agent | 1.120 | RPM | local | Unpublished |
| <input type="checkbox"/> mysql | 3.23.581.73 | RPM | local | Unpublished |
| <input type="checkbox"/> mysql-server | 3.23.581.73 | RPM | local | Unpublished |
| <input type="checkbox"/> mysqlclient9 | 3.23.228 | RPM | local | Unpublished |
| <input type="checkbox"/> perl-DBD-MySQL | 1.22164 | RPM | local | Unpublished |

図 1 「Packages」テーブル

パッケージリストの更新

「Refresh」機能を使用すると、Control Station がリモートの BlueLinQ サーバーに即時照会し、「Packages」テーブル内のパッケージファイルのリストが更新されます。

それぞれのパッケージファイルに関する情報は、リモートの BlueLinQ サーバー上に保管されます。同一のパッケージが 2 台の異なるリモートの BlueLinQ サーバー上に表示された場合、「Packages」テーブルには、Control Station が最後にチェックした BlueLinQ サーバーからのパッケージファイルが表示されます。「Repository」列は、パッケージが見つかった場所を示します。

利用可能なパッケージファイルのリストを更新する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Packages」を選択します。

「Packages」テーブルが表示されます。

2. テーブルの上の「Refresh」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

パッケージファイルのアップロード

パッケージファイルは、一度に 1 つでも、または複数でもアップロードできます。

1 つのパッケージファイルの場合

1 つのパッケージファイルをアップロードする手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Packages」を選択します。

「Packages」テーブルが表示されます。

2. テーブルの上の「Upload」をクリックします。

「Manual Package Upload」テーブルが表示されます (図 2 を参照)。

3. どちらかのラジオボタンをクリックし、パッケージファイルを取得する場所を入力します。

- パッケージファイルをインターネットからダウンロードするには、http://、https://、または ftp:// で始まる URL を入力する
- パッケージファイルのパスとファイル名を入力するか、「参照...」をクリックして場所を指定する

注 - Control Station がプロキシを介してインターネットにアクセスする場合は、「Station Settings」 > 「Settings」 で入力したプロキシ設定が使用されます。これらの設定を行っていない場合は、URL でパッケージファイルをアップロードする前に設定する必要があります。

詳細は、『管理者マニュアル』(PDF ファイル) の第 2 章「Settings (設定)」を参照してください。

4. 「Package Type」プルダウンメニューから、アップロードするパッケージのタイプ (JDS RPM、RPM、SVR4、または Cobalt pkg) を選択します。

5. 「Upload」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

単一パッケージのアップロード

パッケージの手動アップロード

場所 URL

ファイル 参照...

パッケージのタイプ

アップロード 取消し

図 2 1つのパッケージファイルをアップロードする場合

複数のパッケージファイルの場合

注 - パッケージファイルは、最終手順で「Upload」をクリックするまで Control Station にアップロードされません。

注 - テキストファイルで参照されるパッケージファイルは、Solaris パッケージ (SVR4) や Linux パッケージ (RPM) など、すべて同一のタイプでなければなりません。

テキストファイルに異なるタイプのパッケージファイルがあると、Control Station では選択したパッケージタイプに一致するパッケージだけがアップロードされ (以下のステップ 5 を参照)、一致しないパッケージはアップロードされません。「Tasks」テーブル (「Administration」 > 「Tasks」) には、Control Station でアップロードされなかったパッケージが表示されます。

一度に複数のパッケージファイルをアップロードする手順は、次のとおりです。

1. **「Software Management」 > 「Packages」を選択します。**

「Packages」テーブルが表示されます。

2. テーブルの上の「Upload」をクリックします。

3. テーブルの上のプルダウンメニューから「Upload Multiple Packages」を選択します。

「Manual Package Upload」テーブルが表示されます。

4. 「Source File」フィールドに、アップロードするパッケージファイルのリストを含むテキストファイルのパスとファイル名を入力するか、または「参照...」をクリックして場所を指定します。

そのファイルには、パッケージの場所を、Control Station 上のディレクトリパスとして、または URL (<http://> または <https://>) として入力できます。ファイル内に記載されるパッケージファイルの例を以下に示します。

`home/pkgs/packageA.pkg`

`http://ftp.cobalt.sun.com/pub/packages/raq4/eng/RaQ4-All-Security-1.0.1-8061.pkg`

`/tmp/packageB.pkg`

`https://ftp.server.com/pub/package.pkg`

注 - Control Station がプロキシを介してインターネットにアクセスする場合は、「Station Settings」 > 「Settings」 で入力したプロキシ設定が使用されます。これらの設定を行っていない場合は、URL でパッケージファイルをアップロードする前に設定する必要があります。

詳細は、『管理者マニュアル』(PDF ファイル) の第 2 章「Settings (設定)」を参照してください。

5. 「Package Type」プルダウンメニューから、アップロードするパッケージのタイプ (JDS RPM、RPM、SVR4、Cobalt pkg) を選択します。
6. 「Upload」をクリックします。
「Task Progress」ダイアログが表示されます。

表示オプションの設定

下記の項目に従って、「Packages」テーブル内に表示するパッケージファイルを選択できます。

- パッケージファイルが配置されるリポジトリ
- 適合するパッケージファイルを表示する製品
- パッケージファイルの公開状態

この節で説明する表示オプションは、変更が行われない限り有効です。

注 - ここで説明する表示オプションは、「Packages」テーブルだけに適用されます。

表示オプションを設定する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Packages」を選択します。
「Packages」テーブルが表示されます。
2. テーブルの上の「Display Options」をクリックします。
「Display Options」テーブルが表示されます (図 3 を参照)。

3. 表示オプションを設定します。

- 「Repositories」 - パッケージファイルを表示するリポジトリを選択する
- 「Products」 - 適合するパッケージファイルを表示する製品を選択する
- 「Published States」 - 「Published Package Files」、「Unpublished Package Files」のどちらか、または両方を選択する

スクロールボックス間で項目を移動するには、リスト内で対象の項目を選択し、移動する方向の矢印をクリックします。

注 - 特定の製品のパッケージファイルだけを表示するには、「All」という項目、およびパッケージファイルを表示したくない個々の製品を、「Products Displayed」スクロールウィンドウから「Products Not Displayed」スクロールウィンドウに移動してください。

4. 「Change Display」をクリックします。

「Packages」テーブルが更新され、選択した表示オプションに従って、利用可能なパッケージファイルの一覧が表示されます。

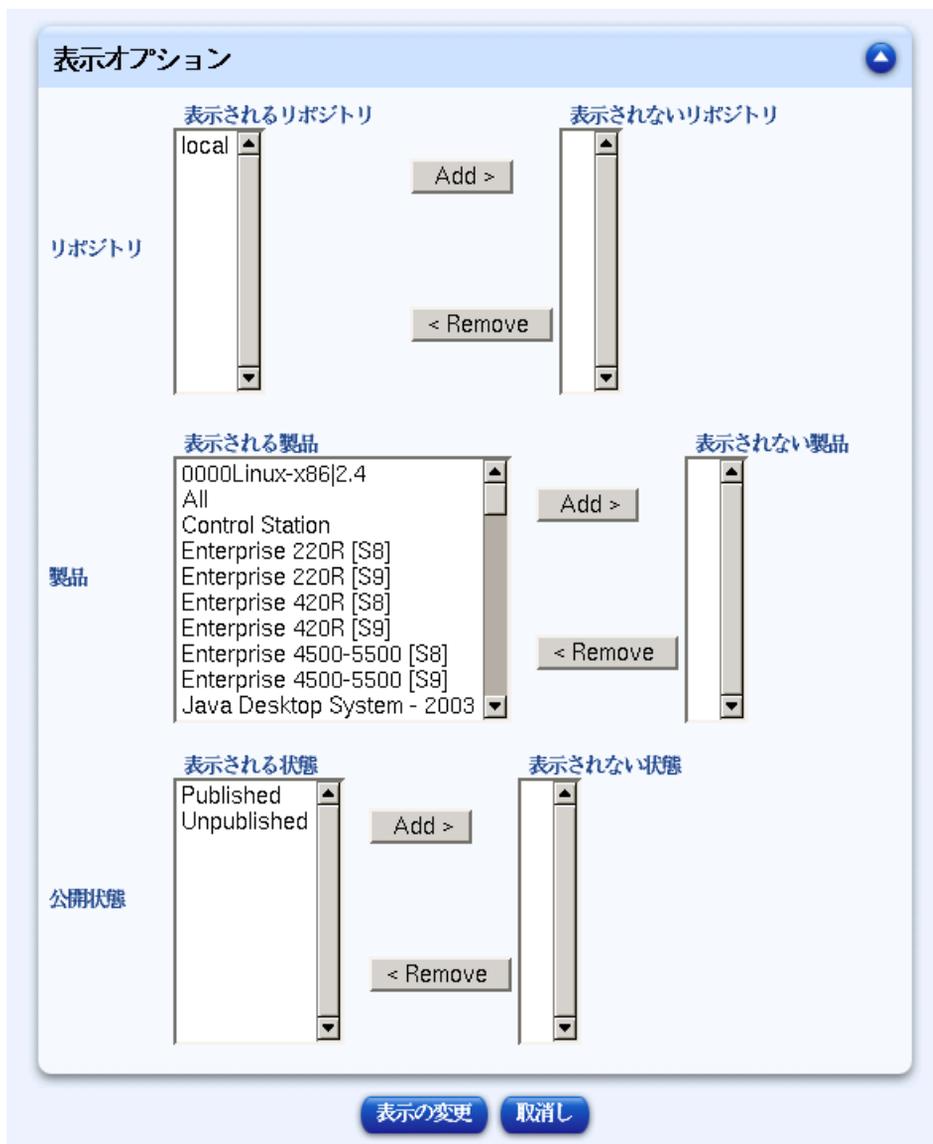


図 3 「Display Options」 テーブル

利用可能なパッケージファイルリスト内での検索

利用可能なパッケージファイルのリスト内で文字列を検索する手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Packages**」を選択します。

「Packages」テーブルが表示されます。

2. テーブルの上の「Search」フィールドに、利用可能なパッケージファイルのリスト内で検索する文字列を入力します。

検索は、テーブル内のパッケージファイル名、バージョン番号、および記述フィールドをもとに行われます。

3. 「Search」をクリックします。

「Packages」テーブルが更新され、検索結果が表示されます。

結果の一覧に別の操作を行うこともできます。また、検索結果に対する検索も可能です。

パッケージファイルの全体リストに戻るには、左側のメニューで「Packages」をクリックします。

パッケージファイルのダウンロード

BlueLinQ サーバーから Control Station 上のローカルレポジトリへパッケージファイルをダウンロードする手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Packages**」を選択します。

「Packages」テーブルが表示されます。

2. 利用可能なパッケージファイルのリストで、ダウンロードするパッケージファイルを選択します。

3. テーブルの下にある「**Download**」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

パッケージファイルの公開

BlueLinQ-が有効化されている外部のサーバーに利用できるようにするためにパッケージファイルを公開する手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Packages**」を選択します。

「Packages」テーブルが表示されます。

2. 利用可能なパッケージファイルリストで、公開するパッケージファイルを選択します。

3. テーブルの下にある「**Publish**」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

パッケージファイルの公開解除

BlueLinQ-が有効化されている外部のサーバーが利用できないようにするためにパッケージファイルを公開解除する手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Packages**」を選択します。

「Packages」テーブルが表示されます。

2. 利用可能なパッケージファイルリストで、公開解除するパッケージファイルを選択します。

3. テーブルの下にある「**Unpublish**」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

パッケージファイルのインストール

注 - Sun Control Station は、依存関係チェックの結果を表示する画面上で「Install」がクリックされるまで、パッケージファイルをホストにインストールしません。

注 - パッケージファイルがインストールされると、システムは、インストール済みパッケージファイルの一覧をすぐに更新します。

管理対象ホスト上にパッケージファイルをインストールする手順は、次のとおりです。

1. **「Software Management」 > 「Packages」を選択します。**

「Packages」テーブルが表示されます。

2. 利用可能なパッケージファイルリストで、インストールするパッケージファイルを選択します。

3. テーブルの下にある「Install」をクリックします。

UI で別のアプレットウィンドウが開き、パッケージをインストールする管理対象ホストを選択するよう求められます。上に「Select All」をクリックすれば、リスト内のすべてのホストを選択できます。

前の画面で選択したパッケージファイルに適合するホストだけが表示されます。

4. テーブルの右下にある「Continue」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

この時点で、Sun Control Station は、選択したホストについて依存関係のチェックを行い、選択したパッケージファイルをインストールできることを確認します。詳細は、41 ページの「依存関係チェック」を参照してください。

5. 依存関係チェックが完了したら、「Done」をクリックします。

チェックの結果は「Patch Install Status」テーブルと「Install Information By Host」テーブルに表示されます。

6. 「Install」をクリックします。

別の「Task Progress」ダイアログが表示されます。

注 - パッケージファイルのインストールは、あとで実行するよう設定することもできます。詳細は、39 ページの「Schedule」を参照してください。

利用可能なパッケージファイルの詳細表示

利用可能なパッケージファイルの詳細情報を表示する手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Packages**」を選択します。

「Packages」テーブルが表示されます。

2. 利用可能なパッケージファイルのリストで、詳細情報を表示するパッケージファイルを選択します。

3. テーブルの下にある「**Info**」をクリックします。

「Package Info」テーブルが表示されます (図 4 を参照)。

複数のパッケージを選択すると、それぞれのパッケージに関する情報がテーブルに表示されます。

4. 「Package Info」テーブルには、次の情報が表示されます。

- パッケージファイルの名前
- バージョン番号
- パッケージファイルのベンダー
- パッケージファイルに関する説明
- パッケージファイルの場所
- パッケージファイルのサイズ (MB)
- ホストにインストール後のパッケージファイルのアンインストールの可否
- パッケージファイルのインストール後に、ホストを再起動する必要があるかどうか
- 対象のパッケージファイルをインストールする前に、ホストにインストールする必要があるパッケージファイル (適宜必要な場合)

5. 「Packages」テーブルに戻るには、右上にある上矢印のアイコンをクリックします。

| パッケージ情報 | |
|------------|---------------------------------|
| 名前 | base-mgmt-agent |
| バージョン | 1.120 |
| ベンダー | Sun Microsystems, Inc. |
| 説明 | Sun Control Station Agent |
| 場所 | base-mgmt-agent-1.1-20.i386.rpm |
| サイズ | 75686 |
| アンインストール可能 | Yes |
| 再起動が必要 | No |

図 4 「Package Information」 テーブル

パッケージファイルの削除

利用可能なパッケージファイルのリストからパッケージファイルを削除する手順は、次のとおりです。

注 - 「Remove」 オプションでは、リモート BlueLinQ サーバーからパッケージファイルは削除されません。

1. 「Software Management」 > 「Packages」 を選択します。
「Packages」 テーブルが表示されます。
2. 利用可能なパッケージファイルリストで、リストから削除するパッケージファイルを選択します。
3. テーブルの下にある「Remove」 をクリックします。
確認ダイアログが表示され、削除の実行を確認します。
4. 「Remove」 をもう一度クリックします。
パッケージがリストから削除され、「Packages」 テーブルが更新されます。

Installed Software

「Installed Software」サブメニュー項目は、ユーザーが選択したホスト上に現在インストールされているパッケージファイルの一覧を提供します。

「Installed Software」サブメニュー項目をクリックすると、「Choose Hosts...」テーブルが表示されます。このテーブルには管理対象ホストが一覧表示されます。

このテーブルから、管理対象ホストに現在インストールされているソフトウェアパッケージファイルを表示したり、インストールされているパッケージのリストを更新したりすることができます。

- 「View」 - このボタンをクリックすると、選択されたホストにインストールされているパッケージファイルのリストを表示できる
- 「Update」 - このボタンをクリックすると、選択されたホストに照会することで、インストールされたパッケージファイルのリストを更新できる

ホストに対するソフトウェアパッケージファイルを表示すると、「Installed Software」テーブルが表示されます。このテーブルの上にはプルダウンメニューがあり、テーブルの下には「Uninstall」ボタンと「Info」ボタンがあります。

- 「Uninstall」 - このボタンをクリックすると、選択したホストからパッケージファイルがアンインストールされる
- 「Info」 - このボタンをクリックすると、利用可能なパッケージファイルについての詳細な情報を表示できる

図 5 に、「Installed Packages」テーブルの例を示します。



図 5 「Installed Software」 テーブル

インストール済みソフトウェアリストの更新

注 - パッケージファイルがインストールまたはアンインストールされると、システムは、該当するホストのインストール済みパッケージファイルの一覧をすぐに更新します。

「Update」タスクでは、インストール済みソフトウェアのリストが管理対象ホストから直接読み込まれます。

管理対象ホスト上のインストール済みパッケージファイルのリストを更新する手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Installed Software**」 を選択します。

「Choose Hosts...」 テーブルが表示され、管理対象ホストのリストが提示されます。

2. ホストをクリックし、強調表示にします。上の「**Select All**」 をクリックすれば、リスト内のすべてのホストを選択できます。

3. テーブルの右下にある「**Update**」 をクリックします。

「Task Progress」 ダイアログが表示されます。

インストール済みソフトウェアの一覧表示

「View」 コマンドにより、管理対象ホストにインストールされているソフトウェアのリストが、ホストに接続することなく Control Station データベースから読み込まれます。

インストール済みソフトウェアのリストを表示する手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Installed Software**」 を選択します。

「Choose Hosts...」 テーブルが表示され、管理対象ホストのリストが提示されます。

2. ホストをクリックし、強調表示にします。上の「**Select All**」 をクリックすれば、リスト内のすべてのホストを選択できます。

3. テーブルの右下にある「**View**」 をクリックします。

選択した管理対象ホストを示す「**Installed Software**」 テーブルが表示されます。

4. 管理対象ホストの横にある**三角形のアイコン**をクリックすると、そのホストに関連付けられているパッケージファイルが表示されます。

このテーブルから、パッケージファイルについての詳細な情報を表示したり、パッケージファイルをアンインストールしたりすることができます。図5を参照してください。

インストール済みパッケージの詳細表示

インストール済みパッケージファイルの詳細情報を表示する手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Installed Software**」を選択します。

「Choose Hosts...」テーブルが表示され、管理対象ホストのリストが提示されます。

2. ホストをクリックし、強調表示にします。上の「**Select All**」をクリックすれば、リスト内のすべてのホストを選択できます。

3. テーブルの右下にある「View」をクリックします。

選択した管理対象ホストを示す「Installed Software」テーブルが表示されます。

4. 管理対象ホストの横にある**三角形のアイコン**をクリックすると、そのホストに関連付けられているパッケージファイルが表示されます。

5. パッケージファイルをクリックし、強調表示にします。上の「**Select All**」をクリックすれば、リスト内のすべてのパッケージファイルを選択できます。

6. テーブルの右下にある「Info」をクリックします。

「Package Info」テーブルが表示されます。図4にテーブルの例を示します。

複数のパッケージを選択すると、それぞれのパッケージに関する個別のテーブルが表示されます。

7. このテーブルには、次の情報が表示されます。

- パッケージファイルの名前
- バージョン番号
- パッケージファイルのベンダー
- パッケージファイルに関する説明
- パッケージファイルの場所
- パッケージファイルのサイズ (MB)
- ホストにインストール後のパッケージファイルのアンインストールの可否
- パッケージファイルのインストール後に、ホストを再起動する必要があるかどうか
- 対象のパッケージファイルをインストールする前に、ホストにインストールする必要があるパッケージファイル (適宜必要な場合)

8. 「Installed Software」テーブルに戻るには、右上にある**上矢印のアイコン**をクリックします。

インストール済みパッケージファイルのアンインストール

ホストからアンインストールできるパッケージファイルもあります。

注意 - ホストからパッケージファイルをアンインストールすると、そのホストの動作に影響を与えることがあります。

注 - アンインストールできないパッケージファイルをアンインストールしようとする
と、UIの下にエラーメッセージが表示されます。

パッケージファイルがアンインストールできるかどうかを確認するには、21
ページの「インストール済みパッケージの詳細表示」を参照してください。

注 - パッケージファイルがアンインストールされると、システムは該当するホストの
インストール済みパッケージファイルの一覧をすぐに更新します。

パッケージファイルをアンインストールする手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Installed Software**」を選択します。
「Choose Hosts...」テーブルが表示され、管理対象ホストのリストが提示されます。
2. ホストをクリックし、強調表示にします。上の「**Select All**」をクリックすれば、リ
スト内のすべてのホストを選択できます。
3. テーブルの右下にある「**View**」をクリックします。
選択した管理対象ホストを示す「**Installed Software**」テーブルが表示されます。図5
を参照してください。
4. 管理対象ホストの横にある三角形のアイコンをクリックすると、そのホストに関連付
けられているパッケージファイルが表示されます。
5. パッケージファイルをクリックし、強調表示にします。上の「**Select All**」をクリッ
クすれば、リスト内のすべてのパッケージファイルを選択できます。
6. テーブルの右下にある「**Uninstall**」をクリックします。
確認ダイアログが表示され、削除の実行を確認します。

7. 「Remove Package(s)」をクリックします。

パッケージがリストから削除され、「Installed Software」テーブルが更新されます。

Needed Software

「Needed Software」サブメニュー項目は、管理対象ホスト上のインストール済みパッケージファイルと、「Packages」テーブルのリスト内にあるパッケージファイルと比較します。対象となるパッケージファイルは、Control Station 上にも、またリモート BlueLinQ サーバー上にも配置可能です。

選択されたそれぞれのホストについて、結果レポートには、そのホストに現在インストールされていないパッケージファイルが表示されます。

注 - この比較をできるだけ正確に行うために、Sun Microsystems™ では、まず次の操作を行うことを推奨します。

1. 管理対象ホストに対して、「Installed Software」画面で「Update」タスクを実行する (詳細は、19 ページの「インストール済みソフトウェアリストの更新」を参照)。
2. リモート BlueLinQ サーバーに対して、「Packages」画面で「Refresh」タスクを実行する (詳細は、7 ページの「パッケージリストの更新」を参照)。

「Needed Software」サブメニュー項目をクリックすると、管理対象ホストのリストを示す「Choose Hosts...」テーブルが表示されます。

このテーブルでは、管理対象ホストで必要なソフトウェアパッケージファイルを表示したり、必要なパッケージファイルのリストを更新したりすることができます。

- 「View」 - このボタンをクリックすると、選択されたホストで必要なパッケージファイルのリストを表示できる
- 「Update」 - このボタンをクリックすると、選択したホストのインストール済みパッケージファイルと、「Packages」テーブルの利用可能なパッケージファイルのリストを比較することで、必要なパッケージファイルのリストを更新できる

ホストに対するソフトウェアパッケージファイルを表示すると、「Needed Software」テーブルが表示されます。テーブルの下には、「Download」、「Publish」、「Install」、「Schedule Install」、「Info」のタスクボタンがあります。

これらのタスクの詳細については、3 ページの「Software Management で利用可能なタスク」を参照してください。

図 6 に、「Needed Packages」テーブルの例を示します。

| 名前 | バージョン | リポジトリ | 公開済み |
|--|-----------------|-------|-------------|
| <input type="checkbox"/> 192.168.2.251 | x86 Red Hat 7.2 | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> mysql | 3.23.581.73 | local | Unpublished |
| <input checked="" type="checkbox"/> mysql-server | 3.23.581.73 | local | Unpublished |
| <input type="checkbox"/> mysqlclient9 | 3.23.228 | local | Unpublished |
| <input type="checkbox"/> perl-DBD-MySQL | 1.22164 | local | Published |
| <input type="checkbox"/> 192.168.2.252 | x86 Red Hat 7.3 | | |
| <input type="checkbox"/> 192.168.2.250 | x86 Red Hat 7.3 | | |
| <input type="checkbox"/> 192.168.2.249 | x86 Red Hat 7.3 | | |

図 6 「Needed Software」テーブル

必要なソフトウェアリストの更新

注 - パッケージファイルがインストールまたはアンインストールされると、システムは、該当するホストのインストール済みパッケージファイルの一覧をすぐに更新します。

「Update」タスクでは、選択したホストのインストール済みパッケージファイルと、「Packages」テーブルの利用可能なパッケージファイルのリストを比較することで、必要なパッケージファイルのリストを更新できます。

管理対象ホスト上の必要なパッケージファイルのリストを更新する手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Needed Software**」を選択します。
「Choose Hosts...」テーブルが表示され、管理対象ホストのリストが提示されます。
2. ホストをクリックし、強調表示にします。上の「**Select All**」をクリックすれば、リスト内のすべてのホストを選択できます。
3. テーブルの右下にある「**Update**」をクリックします。
「Task Progress」ダイアログが表示されます。
4. 「Done」をクリックすると、必要なパッケージファイルのリストを更新した、選択されたホストを示す「**Needed Software**」テーブルが表示されます。

図 6 に、「**Needed Software**」テーブルの例を示します。

パッケージファイルのダウンロード

BlueLinQ サーバーから Control Station 上のローカルレポジトリへパッケージファイルをダウンロードする手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Needed Software**」を選択します。
「Choose Hosts...」テーブルが表示され、管理対象ホストのリストが提示されます。
2. ホストをクリックし、強調表示にします。上の「**Select All**」をクリックすれば、リスト内のすべてのホストを選択できます。

3. テーブルの下にある「**View**」をクリックします。

「Needed Software」テーブルが表示され、管理対象ホストが提示されます (図6を参照)。それぞれのホストに対して必要なパッケージファイルが、各エントリの下に一覧表示されます。

4. 利用可能なパッケージファイルのリストで、ダウンロードするパッケージファイルを選択します。

5. テーブルの下にある「**Download**」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

パッケージファイルの公開

リモートの BlueLinQ サーバーにダウンロードできるようにするためにパッケージファイルを公開する手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Needed Software**」を選択します。

「Choose Hosts...」テーブルが表示され、管理対象ホストのリストが提示されます。

2. ホストをクリックし、強調表示にします。上の「**Select All**」をクリックすれば、リスト内のすべてのホストを選択できます。

3. テーブルの下にある「**View**」をクリックします。

「Needed Software」テーブルが表示され、管理対象ホストが提示されます (図6を参照)。それぞれのホストに対して必要なパッケージファイルが、各エントリの下に一覧表示されます。

4. 利用可能なパッケージファイルリストで、公開するパッケージファイルを選択します。

5. テーブルの下にある「**Publish**」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

パッケージファイルのインストール

注 - Sun Control Station は、「Install」がクリックされるまで、パッケージファイルをホストにインストールしません。

注 - パッケージファイルがインストールされると、システムは該当するホストのインストール済みパッケージファイルの一覧をすぐに更新します。

管理対象ホスト上にパッケージファイルをインストールする手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Needed Software**」を選択します。

「Choose Hosts...」テーブルが表示され、管理対象ホストのリストが提示されます。

2. ホストをクリックし、強調表示にします。上の「**Select All**」をクリックすれば、リスト内のすべてのホストを選択できます。

3. テーブルの下にある「**View**」をクリックします。

「Needed Software」テーブルが表示され、管理対象ホストが提示されます (図 6 を参照)。それぞれのホストに対して必要なパッケージファイルが、各エントリの下に一覧表示されます。

4. 利用可能なパッケージファイルリストで、インストールするパッケージファイルを選択します。

5. テーブルの下にある「**Install**」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

注 - 「Needed Software」テーブルからパッケージファイルをインストールする場合、依存関係チェックの手順は表示されません。Control Station では、選択したホストのリストに表示されるパッケージファイルについて、すでに依存関係のチェックが行われています。

パッケージファイルのインストールのスケジュール作成

必要なパッケージファイルのインストールのスケジュールを作成する手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Needed Software**」 を選択します。

「Choose Hosts...」 テーブルが表示され、管理対象ホストのリストが提示されます。

2. ホストをクリックし、強調表示にします。上の「**Select All**」をクリックすれば、リスト内のすべてのホストを選択できます。

3. テーブルの下にある「**View**」をクリックします。

「Needed Software」 テーブルが表示され、管理対象ホストが提示されます (図6を参照)。それぞれのホストに対して必要なパッケージファイルが、各エントリの下に一覧表示されます。

4. 利用可能なパッケージファイルリストで、インストールするパッケージファイルを選択します。

5. テーブルの下にある「**Schedule Install**」をクリックします。

「Schedule Settings for Package Install」 テーブルが表示されます (図7を参照)。

6. パッケージファイルをインストールする日付と時間のスケジュールを作成します。

デフォルトでは、「Run Date and Time」フィールドに現在の日付と時間が表示されます。下記のパラメータを設定することもできます。

- 「Email Address」 (省略可能) - タスクの実行時に通知を送信する電子メールアドレスを入力する
- 「Notify When Starting」 - タスクの開始時に通知する場合、このチェックボックスを有効にする
- 「Notify When Finished」 - タスクの完了時に通知する場合、このチェックボックスを有効にする

7. 別の日付を選択するには、フィールドの横にあるカレンダーのアイコンをクリックします。

別のカレンダーウィンドウが開きます。

カレンダーをスクロールして、新しい日付を選択します。インストールを行う特定の時間と日付を入力することもできます。

新しい日付をクリックすると、ウィンドウが閉じて新しい日付と時間がフィールドに表示されます。

注 - 日付と時間を両方変更する場合は、最初に「Time」フィールドを変更して、カレンダーから新しい日付を選択します。

8. テーブルの下にある「Save」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

注 - スケジューラ機能については、39 ページの「Schedule」を参照してください。



| Schedule Settings for Package Install | |
|--|---|
| 実行する日付と時刻 | 03/19/2004 11:51:32  |
| 通知 | |
| 電子メールアドレス | <input type="text"/> |
| 開始時に通知 | <input type="checkbox"/> |
| 完了時に通知 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="取消し"/> | |

図 7 「Schedule Settings for Package Install」 テーブル

パッケージファイルの詳細表示

必要なパッケージファイルの詳細情報を表示する手順は、次のとおりです。

1. 「**Software Management**」 > 「**Needed Software**」を選択します。

「Choose Hosts...」テーブルが表示され、管理対象ホストのリストが提示されます。

2. ホストをクリックし、強調表示にします。上の「**Select All**」をクリックすれば、リスト内のすべてのホストを選択できます。

3. テーブルの下にある「**View**」をクリックします。

「Needed Software」テーブルが表示され、管理対象ホストが提示されます(図6を参照)。それぞれのホストに対して必要なパッケージファイルが、各エントリの下に一覧表示されます。

4. 利用可能なパッケージファイルのリストで、詳細情報を表示するパッケージファイルを選択します。

5. テーブルの下にある「**Info**」をクリックします。

「Package Info」テーブルが表示されます。図4にテーブルの例を示します。

複数のパッケージを選択すると、それぞれのパッケージに関する個別のテーブルが表示されます。

6. このテーブルには、次の情報が表示されます。

- パッケージファイルの名前
- バージョン番号
- パッケージファイルのベンダー
- パッケージファイルに関する説明
- パッケージファイルの場所
- パッケージファイルのサイズ (MB)
- ホストにインストール後のパッケージファイルのアンインストールの可否
- パッケージファイルのインストール後に、ホストを再起動する必要があるかどうか
- 対象のパッケージファイルをインストールする前に、ホストにインストールする必要があるパッケージファイル (適宜必要な場合)

7. 「Needed Packages」テーブルに戻るには、右上にある上矢印の**アイコンをクリック**します。

リモートサーバー

「Settings」サブメニュー項目によって、Software Management モジュールに対するリモートソフトウェアサーバーの追加、変更、または削除ができます。リモートソフトウェアサーバーとしては、BlueLinQ サーバーまたは YaST Online Update (YOU) サーバーを使用できます。

Sun Control Station はリモートソフトウェアサーバーにアクセスして、管理対象ホストで利用可能なパッケージファイルのリストを表示します。

注 - このメニュー項目の下に一覧表示されるリモートソフトウェアサーバーには、Control Station ではなく、Sun Control Station の管理対象ホストで使用されるソフトウェアパッケージが含まれます。

BlueLinQ サーバーとしての Sun Control Station

Sun Control Station は、BlueLinQ サーバーとして動作できます。他の Sun Control Station を含め、すべての BlueLinQ-が有効化されたサーバーは、Control Station 上で公開されたパッケージファイルを認識できます。そのため、Control Station はさらに効率的にパッケージファイルの共有や配布を行い、Software Management モジュールで「公開」機能を活用できるようになっています。

Sun Cobalt サーバー製品向け BlueLinQ サーバー

Sun BlueLinQ サーバー updates.cobalt.com/packages/ は、Sun Cobalt サーバー製品で利用可能なパッケージファイルのリストを提供しています。

このサーバーをリモートソフトウェアサーバーのリストに追加するには、33 ページの「リモートソフトウェアサーバーの追加」を参照してください。

YaST Online Updater 機能

YaST Online Updater (YOU) 機能は、Sun JDS ソフトウェアにバンドルされている、更新およびパッチメカニズムです。Sun Control Station は、リモートの YOU サーバーのミラーとして動作できます。

「Remote Software Servers」テーブル

「Remote Software Servers」テーブルには、Software Management モジュールで設定したリモートソフトウェアサーバーが表示されます。Software Management モジュールには、これらのサーバーから利用可能なすべてのパッケージファイル表示されます。

注 - 入力するリモートソフトウェアサーバーのホスト名は、Sun Control Station がアクセス可能な Domain Name System (DNS) サーバーによって解決できなければなりません。

図 8 に、「Remote Software Servers」テーブルの例を示します。このテーブルには 3 つの列があります。

- 「Name」 - リモートソフトウェアサーバーの名前
- 「URL」 - リモートソフトウェアサーバーのホスト名または IP アドレス
- 「Actions」 - サーバーの設定を変更するか、またはリモートソフトウェアサーバーを削除する



| 名前 ▼ | URL | 処理 |
|----------|---------------|---|
| BlueLinQ | 192.168.2.248 |   |
| YaST | 192.168.2.250 |   |

サーバーの追加 サーバー設定

図 8 「Remote Software Servers」テーブル

リモートソフトウェアサーバーのリストは、サーバー名または URL アドレスの昇順または降順で並べ替えることができます。

昇順とは、低い値から高い値の順です (a から z、または 1 から 9)。降順とは、高い値から低い値の順です (z から a、または 9 から 1)。「Remote Software Servers」テーブルは、デフォルトではサーバー名の昇順で表示されます。

並べ替え基準となっている列の見出しには、下 (昇順) または上 (降順) を向く三角形のアイコンが表示されます。

「Actions」列

リモートソフトウェアサーバーを追加すると、そのサーバー上でさまざまな操作を実行できます。これらの操作は、「Remote Software Servers」テーブルの「Actions」列にあります。各操作については、この項で詳細に説明します。

- リモートソフトウェアサーバーの変更
- リモートソフトウェアサーバーの削除

リモートソフトウェアサーバーの追加

注 - リモートソフトウェアサーバーを追加すると、そのサーバーについて、HTTP クエリおよび FTP クエリに対する proxy:port 設定を指定できます。これにより、Sun Control Station をファイアウォールの内側と外側両方におくことができます。

注 - Sun JDS (Java Desktop Update) のアップデートにアクセスするには、次の URL の YOU サーバーを新規に追加します。

<http://jdsupdate.sun.com:8080/lpsauth-1.0/updates/>

この YOU サーバーにアクセスするためのユーザー名とパスワードは、ご購入の Sun JDS メディア キットの「Sun Java Desktop System Support Entitlement Certificate」に記載されています。

Software Management モジュールにリモートソフトウェアサーバーを追加する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Settings」 を選択します。
「Remote Software Servers」 テーブルが表示されます。
2. テーブルの下にある「Add Server」をクリックします。
「Add A Remote Software Server」 テーブルが表示されます (図 9 を参照)。
3. 次の情報を入力します。
 - 「Server Type」 - プルダウンメニューから、「BlueLinQ」または「YaST Online Updater」を選択する

- 「Server Name」 - サーバー名を入力する
- 「Server URL」 - サーバーの URL を入力する
- 「Description」 (省略可能) - このサーバーの簡単な説明を入力する。説明フィールドには 255 文字まで使用できる
- 「User Name」 (省略可能)
- 「Password」 (省略可能)

注 - 「User Name」フィールドと「Password」フィールドは、YaST Online Updater (YOU) サーバーの場合だけ表示されます。

- 「HTTP Proxy:Port」 (省略可能) - リモートソフトウェアサーバーに対してファイアウォール外にアクセスするときに、プロキシサーバーを介さなければならない場合は、HTTP クエリ用のプロキシサーバーとポート番号を入力する
たとえば、`proxy.mycompany.com:8080` のように入力します。
- 「FTP Proxy:Port」 (省略可能) - リモートソフトウェアサーバーに対してファイアウォール外にアクセスするときに、プロキシサーバーを介さなければならない場合は、FTP クエリ用のプロキシサーバーとポート番号を入力する
たとえば、`proxy.mycompany.com:8080` のように入力します。

4. 「Save」をクリックします。

「Remote Software Servers」テーブルに新しいサーバーが追加されて更新されます。サーバーは、サーバー名の昇順で表示されます。

新規に追加されたりリモートソフトウェアサーバーから利用可能なパッケージファイルを表示するには、7 ページの「パッケージリストの更新」を参照してください。

図 9 「Add A Remote Software Server」 テーブル

リモートソフトウェアサーバーの修正

リモートソフトウェアサーバーを修正する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Settings」 を選択します。
「Remote Software Servers」 テーブルが表示されます。
2. テーブル内で、修正するサーバーを探します。
3. 「Actions」 列の鉛筆のアイコンをクリックします。
「Edit Remote Software Server」 テーブルが表示されます。
4. サーバーのタイプ、サーバー名、サーバーの URL、サーバーに関する説明、(YOU サーバーに対する) ユーザー名とパスワード、HTTP Proxy:Port、あるいは FTP Proxy:Port を修正します。
「Description」、「HTTP Proxy:Port」、および「FTP Proxy:Port」 フィールドは、省略可能です。

5. 「Save」をクリックします。

「Remote Software Servers」テーブルが表示されます。サーバー名または URL に変更を加えた場合は、変更された情報が表示されます。

リモートソフトウェアサーバーの削除

Software Management モジュールからリモートソフトウェアサーバーを削除する場合、そのサーバーから利用可能なすべてのパッケージファイルは、「Packages」テーブルからすぐに削除されます。

そのサーバーからローカルリポジトリにダウンロードされたパッケージファイルは、その後も利用可能であり、リストに表示されます。

リモートソフトウェアサーバーを削除する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Settings」を選択します。

「Remote Software Servers」テーブルが表示されます。

2. テーブル内で、削除するサーバーを探します。

3. 「Actions」列の削除のアイコンをクリックします。

確認ダイアログが表示され、削除の実行を確認します。

4. 「Delete Server」をクリックします。

サーバーが削除された状態で、「Remote Software Servers」テーブルが表示されず。

サーバー設定

「Server Settings」テーブルでは、追加した BlueLinQ サーバーの設定に関して、いくつかの設定が行えます (図 10 を参照)。

注 - この画面で行われた設定は、「BlueLinQ Settings」テーブルにリストされるすべての BlueLinQ サーバーに適用されます。

注 - この機能は、YaST Online Updater (YOU) サーバーには適用されません。

「BlueLinQ Server Settings」テーブルには、次のフィールドが表示されます。

- 「Automatically Download Packages」 - このチェックボックスが有効になっている場合、利用可能なパッケージファイルは、Sun Control Station 上のローカルリポジトリに自動的にダウンロードされる

この画面からタスクのスケジュールを作成し、Control Station が BlueLinQ サーバー上の新規パッケージファイルを自動的に確認できるようにします。この操作は、テーブルの上の「Schedule Autoupdate」をクリックするだけでできます。

自動更新をスケジュールする際は、新規ソフトウェアに関する通知やソフトウェア更新に関する照会エラーを送付する電子メールアドレスを指定できます。

設定の指定

BlueLinQ サーバーの設定を行う手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Settings」 を選択します。
「Remote Software Servers」テーブルが表示されます。
2. テーブルの下の「Server Settings」をクリックします。
「BlueLinQ Server Settings」テーブルが表示されます (図 10 を参照)。
3. 「Automatically Download Packages」チェックボックスを有効または無効にします。
4. 「Save」をクリックします。
「BlueLinQ Server Settings」テーブルが表示されます。テーブルの上に、サーバー設定の保存が完了したことを通知するメッセージが表示されます。



図 10 「BlueLinQ Server Settings」テーブル

パッケージファイル自動更新のスケジュール設定

タスクのスケジュールを作成し、Control Station が BlueLinQ サーバー上の新規パッケージファイルを自動的に確認できるようにすることもできます。

更新タスクのスケジュール設定を作成するには、次の手順に従います。

1. 「Software Management」 > 「Settings」 を選択します。
「Remote Software Servers」 テーブルが表示されます。
2. テーブルの下の「**Server Settings**」 をクリックします。
「BlueLinQ Server Settings」 テーブルが表示されます (図 10 を参照)。
3. テーブルの上の「**Schedule Autoupdate**」 をクリックします。
「Schedule Settings for Auto Update」 テーブルが表示されます。
詳細は、39 ページの「Schedule」 を参照してください。

一般情報

「Task Progress」ダイアログ

たとえば、パッケージファイルのホストへのインストールや新規パッケージファイルの公開などのタスクを起動すると、「Task Progress」ダイアログが表示されます。このダイアログには、タスクの現在の状態を示す「Status」フィールドと進行状況バーが表示されます。進行状況バーが 100% になったら、タスクは完了です。

現在のタスクの実行中に UI で別のタスクを実行する場合は、「Task Progress」ダイアログをバックグラウンドに移動できます。バックグラウンドに移動するには、進行状況バーの下にある「Run Task In Background」ボタンをクリックします。

「Task Progress」ダイアログに戻るには、左側の「Administration」>「Tasks」を選択します。タスクのテーブルが表示されます。タスクがまだ実行中の場合は、「Duration」列に状態メッセージが表示されます。この列の進行状況バーのアイコンをクリックすると、このタスクの「Task Progress」ダイアログが再表示されます。

タスクが完了し、進行状況バーが 100% になったら、「Task Progress」ダイアログの下に「Done」と「View Events」の 2 つのボタンが表示されます。

- 完了したタスクに関連するイベントのリストを表示するには、「View Events」をクリックする。「Events For <タスク>」テーブルが表示される。右上にある上矢印のアイコンをクリックすると、「Tasks」テーブルが表示される
- 前の画面に戻るには、「Done」をクリックする

Schedule

スケジュール機能（「スケジューラ」ともいう）を使用すると、1 つまたは複数のタスクをあとで実行するスケジュールを設定できます。

Sun Control Station のタスクの多くはスケジュールを設定できます。スケジュールを設定できる場合、「Schedule」というボタンが、最後の手順のテーブルまたは選択ウィンドウに表示されます。

スケジュール機能の動作についての詳細は、『管理者マニュアル』(PDF ファイル)の第1章、「Schedule (スケジュール)」を参照してください。

スケジューラの操作を次に示します。これはどのタスクでも同じです。

1. タスクについて必要なフィールドに値を指定します。
2. 「Schedule」をクリックします。

「Schedule Settings For <タスク>」が表示されます。
3. タスクのスケジュールには次の設定があります。
 - 「Run date」 - プルダウンメニューで、タスクを実行する日付を入力する
 - 「Run Time」 - プルダウンメニューで、タスクを実行する時刻を入力する
 - 「Email Address」 (省略可能) - タスクの実行時に通知を送信する電子メールアドレスを入力する
 - 「Notify When Starting」 - タスクの開始時に通知する場合、このチェックボックスを有効にする
 - 「Notify When Finished」 - タスクの完了時に通知する場合、このチェックボックスを有効にする
4. 一部の機能については、テーブルの上にあるプルダウンメニューを使用してタスクの頻度を設定できます (毎時、毎日など)。
5. 「Save」または「Cancel」をクリックします。

「Cancel」をクリックした場合、スケジュールされたタスクは保存されません。「Scheduled Tasks」テーブルが表示されますが、キャンセルされたタスクは表示されません。

「Save」をクリックした場合、スケジュール設定されたタスクが、スケジュールされているタスクの一覧に追加されます。「Scheduled Tasks」テーブルに、新規タスクが表示されます。
6. このテーブルで、スケジュールが設定されているタスクの詳細を表示したり、タスクを変更または削除したりできます。

スケジュールされたタスクの詳細を表示するには、虫めがねのアイコンをクリックします。

スケジュールされたタスクを変更するには、鉛筆のアイコンをクリックします。

スケジュールされたタスクを削除するには、削除のアイコンをクリックします。

図 11 に、「Scheduler」テーブルの例を示します。

Hourly

Schedule Settings for Auto Download

実行間隔: Every hour

未選択

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

選択 (分)

Add >

< Remove

通知

電子メールアドレス

開始時に通知

完了時に通知

保存 取消し

図 11 「Scheduler」テーブル

依存関係チェック

パッケージファイルのインストール作業を開始すると、Sun Control Station はまず選択されたホストについて依存関係のチェックを行い、選択したパッケージファイルがインストールできることを確認します。この操作では、次の3つの事項を確認します。

- 選択されたパッケージファイルをインストールする前に、他に必要とされるパッケージファイルがあるかどうか

もし他に必要なパッケージファイルがあり、Control Station がそれらのパッケージファイルを利用できる状態にあれば、まずそれらのパッケージファイルが適切な順序でインストールされ、選択されたパッケージファイルはそのあとでインストールされます。

- 選択されたパッケージファイルのバージョンが、対象のホストにとって適切かどうか
- 選択されたパッケージファイルが、ホストにすでにインストールされているかどうか

Control Station に、インストールの確認または取り消しを確認する画面が表示されま
す。

インストールタスクは単純な一括操作で、一度の操作ですべてのパッケージファイル
が適切なホストにインストールされます。Sun Control Station が解決できないパッ
ケージファイルの依存関係がある場合は (赤色アイコンで示される状態)、インストー
ルタスクはまったく実行されません。

状態を示す色

確認画面では、「Patch Install Status」テーブルが上に表示されます。

このテーブルでは、インストールタスクの総合的な状態が、色つきの丸いアイコンで
表示されます。インストールタスク内のコンポーネントに黄色で示される状態のもの
があれば、そのインストールタスクの総合的な状態が黄色のアイコンで表示されま
す。赤で示される状態のコンポーネントがあれば、その総合的な状態は赤のアイコン
で示されます。

状態は次のように示されます。



緑色の円にチェックマーク - 依存関係の問題がなく、ホストにパッケージ
ファイルをインストールできます。



黄色の円に感嘆符 - ホストにインストールするパッケージファイルに、解決
可能な依存関係の問題が 1 つ以上あります。インストールタスクは続行可能
です。Control Station はまず、必要なパッケージファイルをインストール
し、ホスト上の依存関係の問題を解決し、次に選択されたパッケージファイ
ルをインストールします。



赤い円に X マーク - 選択されたパッケージファイルに、Control Station が解
決できない依存関係の問題が 1 つ以上あります。赤色アイコンが表示されて
いる場合、インストールタスクは続行不能です。

黄色または赤で示される状態については、「Patch Install Status」テーブルの下に表示される「Install Information by Appliance」または「Install Information by Patch」テーブルで、必ず詳細を確認してください。

図 12, 図 13, 図 14 および 図 15 に、確認画面上に表示される依存関係チェックの例を示します。

「Install Information By Host」テーブル

デフォルトでは、「Install Information by Host」テーブルが表示されます。図 12 に例を示します。このテーブルには、次の 5 つの列があります。

- 「Install Status」 - ホストに関するインストールタスクのステータスが、色つきの丸いアイコンで表示される
- 「Comment」 - 依存関係の問題に関するコメントが表示される
- 「Client IP」 - パッケージファイルを受け取るホストの IP アドレスが表示される
- 「Number of Pkgs」 - ホストにインストールされるパッケージファイル数が表示される
- 「Details」 - ホストにインストールされるパッケージファイルを表示できる。また、インストール全体からホストを除外することができる

インストールするパッケージファイルを表示すると、2 つ目のテーブルに情報が表示される。このテーブルでアイコンをクリックすると、パッケージファイルに関するすべての情報を表示できる

管理対象ホストのどれかが赤色アイコンで示されるステータスである場合は、Control Station が解決できない依存関係の問題があります。そのようなホストを対象外にすることでインストールタスクを継続できます。

「Install Information By Patch」テーブル

「Install Information by Patch」テーブルを表示するには、上のプルダウンメニューから「View by Patches」を選択します。図 13 に例を示します。このテーブルには、次の 5 つの列があります。

- 「Install Status」 - パッケージファイルに関するインストールタスクのステータスが、色つきの丸いアイコンで表示される
- 「Package Name」 - パッケージファイルの名前が表示される
- 「Version」 - パッケージファイルのバージョンが表示される

- 「Number of Hosts」 - パッケージファイルがインストールされるホスト数が表示される
- 「Details」 - パッケージファイルがインストールされるホスト、またはパッケージファイル情報を表示する

選択されたホストすべてに赤いアイコンが表示されている場合は、すべてのホストで依存関係の問題を引き起こしているのが1つのパッケージファイルなのかどうか、このテーブルで確認できます。

即時インストール、またはインストールのスケジュール

インストールタスクを続行できる場合、パッケージファイルをそのときにインストールするのか、あるいはあとでインストールするようにスケジュールするかを選択できます。

- 「Install」 をクリックすると、「Task Progress」ダイアログが表示される。詳細は、39 ページの「「Task Progress」ダイアログ」を参照
- 「Schedule」 をクリックすると、「Scheduler」画面が表示される。詳細は、39 ページの「Schedule」を参照

ホストごとに表示

パッチインストールの状態

全体の状態

推奨の処理 インストールに成功しました。ただちにインストールするには、「インストール」ボタンをクリックします。または、あとにインストールをスケジュールするには、「スケジュール」ボタンをクリックします。

インストール スケジュール 取消し

ホストごとのインストール情報

| 状態 | クライアント IP | コメント | # パッケージ | 詳細 |
|----|---------------|----------------------|---------|----|
| | 192.168.2.249 | 指定どおりのインストールに成功しました。 | 1 | |

図 12 緑色アイコンの「Install Status」テーブル (「By Appliances」表示)

パッケージごとに表示 ▼

パッチインストールの状態

全体の状態 

推奨の処理 インストールに成功しました。ただちにインストールするには、「インストール」ボタンをクリックします。または、あとにインストールをスケジュールするには、「スケジュール」ボタンをクリックします。

インストール スケジュール 取消し

パッチごとのインストール情報

| 状態 | パッケージ名 | バージョン | # ホスト | 詳細 |
|---|--------------|-------------|-------|---|
|  | mysql | 3.23.581.73 | 1 |   |
|  | mysql-server | 3.23.581.73 | 1 |   |

図 13 緑色アイコンの「Install Status」テーブル (「By Patches」表示)

ホストごとに表示 ▼

パッチインストールの状態

全体の状態 

推奨の処理 インストールは警告状態です。アラインインストールチェックのために、パッケージの元のインストールリストに変更が行われました。インストールの前に詳細をチェックしてください。

インストール スケジュール 取消し

ホストごとのインストール情報

| 状態 | クライアント IP | コメント | # パッケージ | 詳細 |
|---|---------------|--|---------|---|
|  | 192.168.2.252 | パッケージの元のインストールリストに変更が行われて、インストールに成功しました。 | 3 |   |

図 14 黄色アイコンの「Install Status」テーブル

ホストごとに表示 ▼

パッチインストールの状態

全体の状態 

推奨の処理 
 インストールに失敗しました。アラインインストールのチェックに失敗したため、パッケージをインストールできません。

取消し

ホストごとのインストール情報

| 状態 | クライアント IP | コメント | # パッケージ | 詳細 |
|---|---------------|--|---------|---|
|  | 192.168.2.251 | パッケージのアラインインストールチェックでの問題のためにインストールに失敗しました。 | 0 |   |
|  | 192.168.2.252 | パッケージのアラインインストールチェックでの問題のためにインストールに失敗しました。 | 0 |   |

図 15 赤色アイコンの「Install Status」テーブル